

レジメン一覧の解説

レジメン共通の確認事項や
前投薬が記載されています

レジメンの位置づけや
継続期間などの記載を
しています。

【共通確認事項】

ラムシマブ[®]（サイラムザ）前投薬：レスタミン（内服）
 パクリタキセル前投薬：レスタミン（内服）、デキサメタゾン、ファモチジン（点滴）
 催吐リスク分類：HECレジメンに関してはアプレピタント（イメド）,5-HT 3拮抗薬,デキサメタゾンを使用

胃がん

レジメンコード	レジメン名称	薬剤名	1日投与量	投与時間	投与日	1コース期間	催吐リスク分類	備考：
161001	GC-5FU 4w	5-FU：フルオウラシル	800mg/m ²	24時間	Day1-5（連日）	4週間毎	LEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
161002	GC-5FU/CDDP 4w	5-FU：フルオウラシル CDDP：シスプラチン	800mg/m ² 20mg/m ²	24時間 2時間	Day1-5（連日） Day1-5（連日）	4週間毎	HEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
162003	GC-5FU/I-LV 8w6	5-FU：フルオウラシル I-LV：イリノテカン	500mg/m ² 250mg/m ²	5分（急速静注） 2時間	Day1,8,15,22,29,36 Day1,8,15,22,29,36	8週間毎	LEC	進行・再発：PDまで 内服不能症例
161004	GC-Cape/CDDP 3w2（XP）	Cape：カペシタビン（ゼロダ） CDDP：シスプラチン	2000mg/m ² 80mg/m ²	内服 1日2回 2時間	Day1-14（連日） Day1	3週間毎	HEC	進行・再発：PDまで
161005	GC-Cape/CDDP/Tmab 3w2（XP + Tmab）	Cape：カペシタビン（ゼロダ） CDDP：シスプラチン Tmab：トラスツマブ	2000mg/m ² 80mg/m ² 8→6 mg/kg	内服 1日2回 2時間 1時間30分→30分	Day1-14（連日） Day1 Day1	3週間毎	HEC	HER2陽性症例 進行・再発 CDDPは⑥コース 程度で適宜終了
162006	GC-CPT-11（イリノテカン） 2w	CPT-11：イリノテカン（カンプト）	150mg/m ²	1時間30分	Day1	2週間毎	MEC	進行・再発：PDまで

レジメンコードはお薬手帳用シールに印字されているものと共通です

Day1-14(連日)は14日間服用する意味です

例)

161004	GC-Cape/CDDP 3w2（XP）	Cape：カペシタビン（ゼロダ） CDDP：シスプラチン	2000mg/m ² 80mg/m ²	内服 1日2回 2時間	Day1-14（連日） Day1	3週間毎	HEC	進行・再発：PDまで
--------	----------------------	---------------------------------	--	----------------	---------------------	------	-----	------------

催吐リスク分類

高度リスク：high emetic risk chemotherapy（HEC）

90%を超える患者に吐き気が発現する

中等度リスク：moderate emetic risk chemotherapy（MEC）

30～90%の患者に吐き気が発現する

軽度リスク：low emetic risk chemotherapy（LEC）

10～30%の患者に吐き気が発現する

レジメン名称：がん腫（略字） - 薬剤名（カタカナ表記/略語） __インターバル（●w▲）複数薬剤の治療については、各々の薬剤の略字を使用し，“/”（スラッシュ）で区切り表記する。インターバル表記について“●w” ⇒ ●週間ごとに投与 “●w▲” ⇒（注射剤の場合）●週間を1インターバルとし、その間に▲回投与（経口剤併用の場合）表記は経口剤を優先とする。●週間を1インターバルとし、その間に▲週間内服

例) のレジメンの場合、進行再発胃がん患者が対象 Day1から14日間カペシタビンを内服（2000mg/m²）し、Day1にシスプラチンを2時間で点滴することを示しています。原則3週間毎に繰り返し、PD（病状進行まで）継続します。（入院・外来でレジメンコードにアルファベットが付くことがあります。）

【問合せ先】 昭和大学病院薬剤部 化学療法担当 TELL：03-3784-8467（平日9時～16時）